

公認プログラム



市民フォーラム・未来を語る

「あたりまえのものさし」を見直そう！

東京2020大会を機に考える共生社会の実現

2019年
12月21日 (土)

14:00~16:00
(開場13:30)

会場
八王子市生涯学習センター
(クリエイトホール)

5階ホール

(八王子市東町5-6)
※駐車場のご用意はありません。

第1部 基調講演

「目の見えない人は世界をどのように見ているのか」

講師 伊藤 亜紗さん (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
/大学院環境・社会理工学院准教授)



八王子市出身。
主な著作「目の見えない人は
世界をどう見ているのか」。

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 伊藤 亜紗さん
パネリスト



葭原 滋男選手
(パラリンピアン)



太田 涉子選手
(パラリンピアン)



青木 純さん
(八王子市スポーツ
推進委員)



石森 孝志
(八王子市長)

入場無料 申込不要(定員170名)

手話通訳・要約筆記あり

託児あり(要事前申込)

お問合せ

八王子市 総合経営部 広聴課
オリンピック・パラリンピック推進室

電話042-620-7411 FAX042-620-7322
電話042-620-7485 FAX042-626-8554



あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

登壇者プロフィール

基調講演講師・コーディネーター 伊藤 亜紗（いとう あさ）さん

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授。MIT客員研究員（2019）。専門は美学、現代アート。もともと生物学者を目指していたが、大学3年次より文転。2010年に東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻美学芸術学専門分野博士課程を単位取得のうえ退学。同年、博士号を取得（文学）。主な著作に『目の見えない人は世界をどう見ているのか』（光文社）、『どもる体』（医学書院）、『記憶する体』（春秋社）など。WIRED Audi INNOVATION AWARD 2017受賞。

パネリスト 葭原 滋男（よしはら しげお）選手

網膜色素変性症の視覚障害者。陸上競技（走り高跳び）、自転車競技でパラリンピックに4回出場、金銀銅計4個のメダルを獲得。その後、ブラインドサッカーに転向し、日本代表としても活躍した。最近では、ブラインドサーフィンにも挑戦している。東京2020パラ応援大使。参天製薬株式会社勤務。ブラインドスポーツクラブ乃木坂ナイツ代表。東京都障害者スポーツ協会理事。東京都盲人福祉協会理事。港区視覚障害者福祉協会会長。

パネリスト 太田 渉子（おおた しょうこ）選手

先天性左手全指欠損を持って生まれる。高校1年時に、自身初となる2006年トリノパラリンピックに史上最年少選手として出場し、バイアスロンロングで銅メダルを獲得。2年時にスキーと語学取得のためフィンランドへ留学。その後、2010年バンクーバーパラリンピックではクラシカルスプリントで銀メダルを獲得、2014年のソチパラリンピックにも出場。2014年3月にスキー競技を引退。その後、パラスポーツの普及活動を行う中で東京2020から新競技となるパラテコンドーと出会い、2018年に本格的にアスリートとして再び勝負の世界へ戻ることを決意。同年、ソフトバンク株式会社に入社し、選手としての強化、競技の普及活動、会社での業務を両立させながら、東京2020パラテコンドー出場を目指している。

パネリスト 青木 純（あおき じゅん）さん

八王子市スポーツ推進委員協議会総務部長。

平成27年1月より市民スポーツを普及するため八王子市スポーツ推進委員として地域で活動。また、総合型地域スポーツクラブ「第一地区スポーツクラブ」では事務局長に就いており、バレーボール、野球の指導者としても活躍中。

パネリスト 石森 孝志（いしもり たかゆき）

八王子市長（現在2期目）。八王子市議会議員3期、東京都議会議員2期。平成24年1月から現職。八王子を「活力ある魅力あふれるまち」、「安全で安心して暮らせるまち」、「市民が集い水と緑に恵まれたまち」にするため「攻めのまちづくり」を政治信条に、積極的にまちづくりにまい進。平成27年4月に中核市移行を実現。市民の皆様に「いつまでも八王子に住み続けたい」と思っていただけ「夢と希望が持てるまち」の実現を目指し全力で取り組む。